

スレート改修の効果

サンホームサービス株式会社

推進グループ

スレート改修工法としての考え方

CSR(企業の社会的責任)、つまり周辺環境(周辺住民と就業者)そして環境に配慮した安全、安心設計。

■ 施工時のアスベストの飛散をシャットアウト

ケレン、高圧水洗不要工法で、施工時のアスベスト飛散も心配ありません。

■ 長期間アスベストの飛散をシャットアウト

高耐候性、厚膜型塗装システムで長期間アスベストを抑止します。

■ 遮熱効果で、省エネルギーと環境保護

スレート屋根の建物は構造的に高反射塗料の効果が得られやすいので、工場内の省エネルギー化と労働環境改善に適します。更には地球温暖化防止対策が可能です。

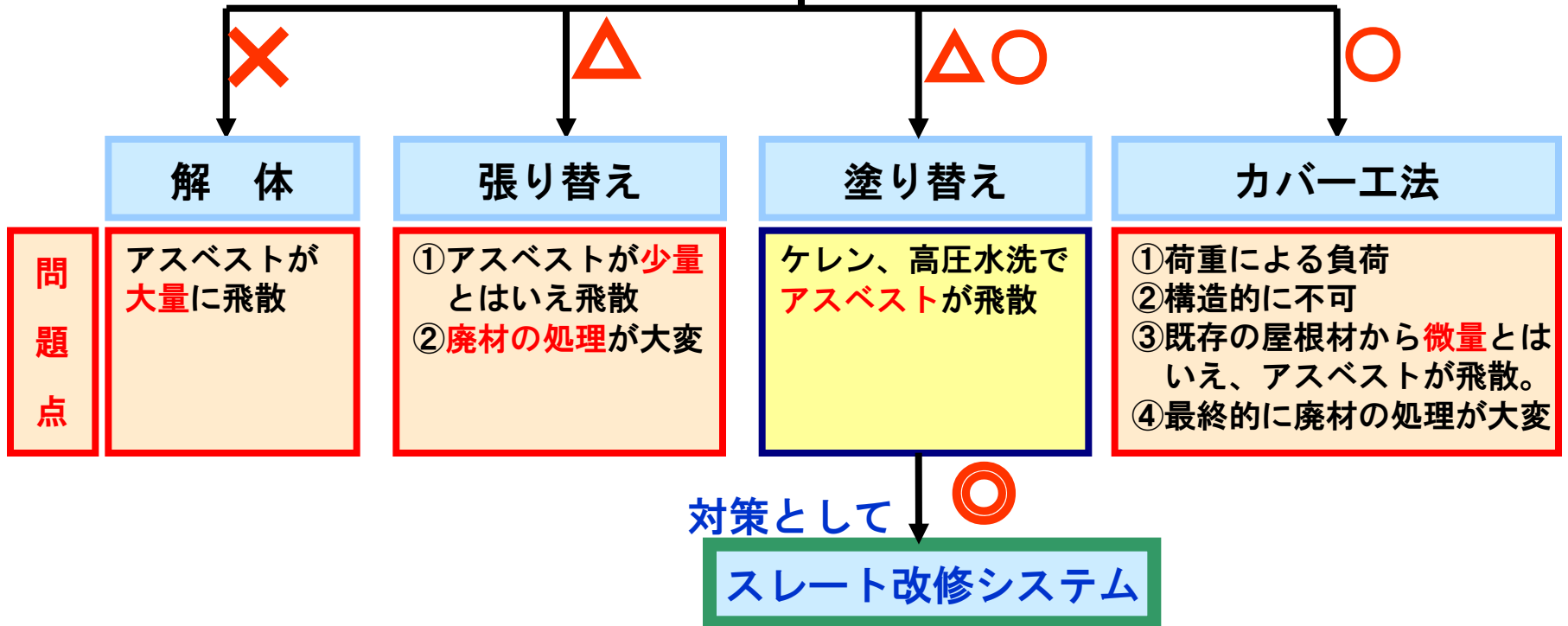
老朽化したアスベスト含有屋根材への処置について

スレート・新生瓦等のアスベストを含有した屋根材

老朽化

一般的に20～30年が耐久年数と言われるが経年及び酸性雨の影響で強度低下、表面劣化が著しく平均的に10～20年程度でメンテナンスまたは葺き替えされる。





アスベスト対策での評価



老朽化したスレート屋根材状況



トラックターミナル効果検証

測定	古いスレート	塗替え部
屋根上	 <p>52°C</p>	 <p>34°C</p>
天井面	 <p>42°C</p>	 <p>31°C</p>

是非ホームページからお問合せください！

[お問い合わせフォームはこちら >](#)